

2024 年度
公募制推薦入試＜前期＞
2023 年 11 月 22 日実施分

問題と解答

国語

国語

I 次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えなさい。

レヴィ・ストロースは彼が『悲しき熱帯』でフィールドワークをしたマド・グロッソのインディオ裸族たちのことを念頭にこ
^(注1)
う書いています。

「彼の道具的世界は閉じられている。そして、ゲームの規則は『手持ちの手段』でなんとかやりくりするということである。すなわち、ある限定された時点で手元にある道具と資材だけで、ということである。加えてこれらはまったく雑多なものである。というのは、これらの道具と資材はいずれもその時点での企図とは無関係に集められたものだからである。というより、そもそもいかなる特定の企図とも無縁なのである。それらはストックを更新したり、増やしたり、あるいは何かを作ったり壊したりしたときの残滓でストックをほ⁽⁷⁾ジュウしたりする機会があることに無計画に収集された結果である。^(注3)ブリコールの持ち物は何らかの計画によって定められたものではない。（中略）それは道具性に基づいて定められるのである。ブリコールたちの口ぶりを真似て言えば、彼らの道具や資材は『こんなものでも何かの役に立つことがあるかもしれない』（Ca peut toujours servir）という原理に基づいて収集され保存されているのである。」

『野生の思考』という二十世紀の知的パラダイムを一変させた名著の冒頭でレヴィ・ストロースは「ブリコール」について書きました。ヨーロッパの「文明人」たちとは別の種類の知、^(a)「野生の思考」によって思考する「未開人」たちがいる。彼らの知はどのように効率的に機能しており、それが彼らの人間的世界の秩序と尊厳をかたちづくっているか。レヴィ・ストロースはそれを知らしめることで、自民族中心主義のうちにまどろんでいたヨーロッパ知識人に⁽ⁱ⁾を浴びせました。諸君が唯一の人間的知と思っているものとは別の仕方では機能している知が存在する。「人間の生が持ちうるすべての意味と尊厳」を自分たち

①
の集団だけが独占しており、他の集団はそれを欠いていると考えることはあまりにこうマンである。「人間性はその歴史的・地理的な諸様態のうちのただ一つにすべて含まれていると信じることはよほどの自民族中心主義と無思慮が必要である。」

レヴィ・ストロースはそう書きました。

野生の人々には固有の知があります。それはあらかじめ立てられた計画に基づいて必要な道具や素材をてきばきと集める能力ではありません。「ありもの」の「使い回し」だけで未来の需要に備える能力です。

ジャングルを歩いていると目の前にさまざまなモノが出現してきます。それは植物であつたり、動物であつたり、無機物であつたり、有機物であつたり、人工のモノであつたり、自然物であつたりします。その中のあるものを前にしたときに「プリコルー」は立ち止まります。そして、「こんなものでもいつか何かの役に立つかもしれない」と言つて、背中の合切袋がっさいぶくろに放り込む。

なぜ「いつか何かの役に立つかもしれない」ということがわかるのか。ジャングルの中に、彼の視野の範囲には「その用途や実用性がわからないもの」がそれこそ無数にあつたはずで、どうして、「その用途や意義が知れぬ」無数のもののうちで、とりわけ「それ」が彼の関心を惹きつけたのでしょうか。

先駆的に、その有用性を知つていたという言い方でしかこの行動は説明が付きません。そして、実際に彼は「いつか何かの役に立つかもしれない」と思つて拾つておいたものについて、あとになって「ああ、これを取つておいてよかった」と嘆息したという経験を繰り返してきた。そういう反復を通じてしか、そのような能力は強化されませんから。

人間には「どうしてよいかわからないときに、どうしてよいかわかる」能力が潜在的に備わっています。その能力は資源がじゅんたくで安全な環境では発達しない。「どうしていいかわからない」ときにでも、「どうすればいいか」を訊きに行く人がいたり、必要なものを買ひ足しに行けるなら、先駆的に知る必要はない。けれども、資源が乏しい環境や、失敗したときに「リセット」することが許されないタイトな環境においては、「どうしていいかわからないときにも適切にふるまう」ことが生き延びる

ために必須のものになる。

「学び」という営みは、それを学ぶことの意味や実用性についてまだ知らない状態で、それにもかかわらず、これを学ぶことがいづれ生き延びる上で死活的に重要な役割を果たすことがあるだろうと先駆的に確信することから始まります。「学び」はそこから始まりません。私たちはこれから学ぶことの意味や有用性を、学び始める時点では言い表すことができない。それを言い表す^①ごイや価値観をまだ知らない。その「まだ知らない」ということがそれを学ばなければならない当の理由なのです。そういうふうな順逆の狂った仕方です。「学び」は構造化されています。

「学ぶ力」というのは、あるいは「学ぶ意欲（インセンティヴ）」^②というのは、「これを勉強すると、こういう『いいこと』がある」という^③ほうシユウの約束によつてかたちづくられるものではありません。その点で、私たちの国の教育行政官や教育論者のほとんどは深刻な勘違いを犯しています。子どもたちに、「学ぶと得られるいいこと」を、学びに先立って一覧的に開示することで学びへのインセンティヴが高まるだろうと彼らの多くは考えていますが、人間というのはそんな単純なものではありません。「学ぶ力」「学びを発動させる力」はそのような数値的・外形的なベネフィットに反応するものではありません。

「学ぶ力」とは「先駆的に知る力」のことです。自分にとつてそれが死活的に重要であることをいかなる論拠によつても証明できないにもかかわらず確信できる力のことです。ですから、もし「いいこと」の一覧表を示されなければ学ぶ気が起らない、^④ほうシユウの確証が与えられなければ学ぶ気が起らないという子どもがいたら、その子どもにおいてはこの「先駆的に知る力」^⑤はすいびしているということになります。私たちの時代に至つて、日本人の「学ぶ力」（それが「学力」ということの本義ですが）が劣化し続けているのは、^⑥「先駆的に知る力」を開発することの重要性を私たちが久しく閑却^{かんきやく}したからです。

今の子どもたちは「値札の貼られているものだけを注視し、値札が貼られていないものは無視する」ように教えられています。その上で、自分の手持ちの「貨幣」で買えるもつとも「値の高いもの」を探しだすように命じられている。幼児期からそのような「賢い買い物」^⑦のための訓練を施された子どもたちの中では、「先駆的に知る力」はおそらく萌芽^{ほうが}状態のうちに摘まれてしま

うでしょう。「値札がついていないものは商品ではない」と教えられてきた子どもたちが「今はその意味や有用性が表示されていないものの意味や有用性を先駆的に知る力」を発達させられるはずがない。

けれども、この力は資源の乏しい環境の中で（ということは、人類が経験してきた全歴史のほとんどにおいて）生き延びるために不可欠の能力だったのです。

（内田 樹「日本辺境論」より）

（注1）レヴィ＝ストロース（1908－2009）ブリュッセル生まれ。パリ大学法学部卒業後、高等学校の哲学教師をつとめた。1935年サンパウロ大学に社会学教授として招かれ、先住民社会の実地調査に従事し、民族学者としての研鑽を積んだ。1948年パリに戻り、1959年よりコレージュ・ド・フランスの社会人類学教授をつとめた。

（注2）マト・グロッソ＝ブラジル中西部地方に位置する広大な州。

（注3）ブリコール＝フランス語で「便利屋」を意味し、この本文では、「限定された資源のうちで生活している野生の人々」を意味している。

問1 太線部㊦㊧の熟語のカタカナで表記された部分に使用する漢字を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選
びなさい。

㊦	㊧
ごイ	ほジュウ
④	①
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
位 彙 為 異 意	中 重 住 充 十
㊨	㊩
ほうシユウ	ごうマン
⑤	②
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
酬 酢 収 州 作	萬 慢 満 万 漫
㊪	㊫
すいビ	じゅんタク
⑥	③
5 4 3 2 1	5 4 3 2 1
鼻 尾 火 尾 微	卓 択 沢 拓 宅

問2

傍線部①と②の文中における意味を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

① 野生の思考

⑦

- | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 五感を鋭くし、本能に従ってものを収集するための知恵 | 特定の目的や企図なしに物の有用性を識別するための知恵 | 特定の目的や企図に従って物の有用性を識別するための知恵 | 潜在的に有用なものを目的に従って収集するための知恵 | 顕在的に有用なものを特定の企図なしに収集するための知恵 |

② 萌芽状態

⑧

- | | | | | |
|-------------------------|----------------------|-------------------|-------------------|-----------------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 子どもの身体的成長が活発になろうとしている状態 | 新しいアイデアが生まれようとしている状態 | 新しい胚が成長しようとしている状態 | 新しいことが起ころうとしている状態 | 草木が芽を出そうとしている状態 |

問3

空欄①に入れるのに最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑨

1 非難

2 熱湯

3 冷水

4 罵声

5 異議

問 4

波線部①「道具的世界」とあるが、その意味として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑩

- 1 特定の目的と様々な手段との連関からなる生活空間
- 2 明確に役に立つ様々な道具を提供してくれる生活空間
- 3 狩りに役立つ様々な道具を発見できるような生活空間
- 4 有用性の連関によって成り立っているような生活空間
- 5 目の前に様々な役に立つ自然物が存在している生活空間

問 5

波線部②「先駆的に知る力」を開発することの重要性」とあるが、こうした「開発」はどのようにすれば可能になるのかと筆者は考えているか。最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

⑪

- 1 ものの有用性を繰り返し教えられることによって
- 2 ジャングルの中での生活を続けることによって
- 3 資源の限られた環境で試行錯誤を重ねることによって
- 4 ものの有用性とは何かを繰り返し調査することによって
- 5 ものの有用性とは何かを繰り返し確認する体験によって

問6 波線部㉔「賢い買い物」とあるが、それはどういう意味か。その説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一

つ選びなさい。12

- 1 最も高価なものをできるだけ安く購入すること
- 2 価値あるものとされているものを効率的に入手すること
- 3 高価なものを割引セールの際に購入すること
- 4 最も高価なものをできるだけ楽に入手すること
- 5 価値あるものを自分でみつけ、手持ちのお金で購入すること

問7 本文に合致する内容として、最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

13

- 1 「野生の思考」は古代の生活に特有の知のはたらきである
- 2 「学ぶ力」を開発するためにはインセンティブが必要である
- 3 現代の文明社会においてこそ「先駆的に知る力」は必要である
- 4 資源が限られた環境においては「先駆的に知る力」が重要となる
- 5 「野生の思考」は西洋の文明社会の諸問題を解決する鍵となる

Ⅱ 後の問い（問1と問2）に答えなさい。

問1 次の四字熟語①と②の空欄に入れる漢字を、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

意味

① 面□九年

⑭

5 4 3 2 1
壁 岩 壁 石 一

一つのこと忍耐強く専念して、やり遂げること

② 杓□定規

⑮

5 4 3 2 1
子 全 準 剣 私

一定の基準で全てを律しようとする事

問2 次の慣用句①と②の意味として最も適当なものを、次の各群の1～5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

① 額を集める

①6

- 1 多人数の注目を集めること
- 2 多人数の知恵を集めること
- 3 互いにうちとけて話し合うこと
- 4 間近に向かい合って座ること
- 5 多人数が集まって相談すること

② のるかそるか

①7

- 1 あきれてものが言えない状態であること
- 2 賛成か反対か決めかねていること
- 3 口先でだまされかねないような状態であること
- 4 成功するかしないかわからず、とにかくやってみること
- 5 はっきりと判断することができない状態であること

2024年度 公募推薦入試＜前期＞解答 11月22日実施分

国語		
解答番号	解答	配点
①	2	2
②	4	2
③	3	2
④	4	2
⑤	5	2
⑥	1	2
⑦	4	3
⑧	2	3
⑨	3	4
⑩	4	5
⑪	3	5
⑫	2	5
⑬	4	5
⑭	3	2
⑮	5	2
⑯	5	2
⑰	4	2